

平成23年度

進路だより

平成23年9月7日(水)
広島県立庄原特別支援学校

今回は高等部の就業体験・職場実習の様子や感想と、本校卒業生2名を招いて行った「ようこそ先輩」での様子をお知らせします。

<就業体験・職場実習>

高等部では、生徒一人一人の卒業後の進路の実現に繋げることを目的として就業体験・職場実習を実施しています。これまでに2年生11名の生徒、3年生全員が就業体験・職場実習を経験しました。学校とは異なる環境の中で緊張感を持ちながらも、自分なりに一生懸命仕事に取り組んだり、職場の人とコミュニケーションを図ろうとしたりと頑張っている様子が見られました。就業体験・職場実習を終えての生徒の感想をご紹介します。



3年生 Aさん

(職場実習先：食品・雑貨小売業)

前出しや品出し、青果の袋詰めやパック詰めなどをさせていただきました。品物がどこにあるか分からなかったもので、品出しをするのが難しかったです。でも、こういう風に置くかなど、よく考えて頑張りました。仕事をしていると、お客さんに「頑張ってるね」と言われたことが嬉しかったです。また、「いらっしやいませ」「有難うございます」「少々お待ちくださいませ」など、間違えずに自分から言えました。

3年生 Bさん

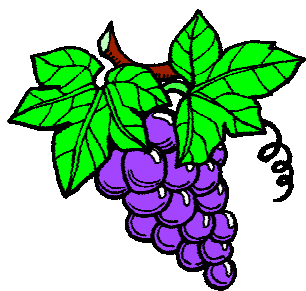
(職場実習先：金属製サイン製品と
その関連製品の製造販売業)

初めて体験した仕事ですがどの仕事も楽しくできました。中でもテープカットの仕事は、立ちっぱなしで大変でしたが時間をかけて丁寧に頑張ることができました。仕事をする中で、周りの方が人付き合いの大切さや何事も辛抱して頑張ることの大切さを教えてくださいました。

3年生 Cさん

(職場実習先：農林業)

この度の実習では、たばぎをつくる作業をしました。一本一本まきをつめる作業は根気のいる作業でした。まかされた仕事を責任をもってやりきることは大変だと思いました。



2年生 Dさん
(就業体験先：農園)

仕事は草刈やブドウの枝の剪定を行いました。8時から17時まで行いました。仕事が終わったら「終わりました」と報告するようにしました。反省会では「報告ができていた」と言われました。



2年生 Eさん
(就業体験先：水道工事会社)

1年生の時も実習したので仕事は分かっていたのですが、あいさつや返事をもっと大きな声で言うように言われました。学校でも気をつけようと思います。

2年生 Fさん
(就業体験先：バス会社)

1年次の時の実習と同じように、バスの洗車と室内の清掃をしました。決められた時間内にしなくてはならないので大変でした。でも、一生懸命がんばりました。

<ようこそ先輩>



高等部では、卒業生から就労の経過や就労後の経験等を聞き、自らの進路について考えることを目的として、6月22日(水)に「ようこそ先輩」を実施しました。

本校卒業生の平岡浩規さん(株式会社JMS三次工場勤務)と平原佳和さん(株式会社フレスタ庄原店勤務)のお二人をお招きして、就労先での仕事内容や仕事をする上で気をつけていること、休みの日の過ごし方などについてお話を伺いました。

仕事をする上では「5S(整理, 整頓, 清掃, 清潔, 躰)」が大切であり、大きな声でのあいさつや丁寧な言葉遣い、職場の人の指示をよく聞き、もし失敗したらきちんと謝ること、清潔に留意することなども必要であるとのことでした。困ったときには店長や先輩に相談したり、余暇では職場の仲間とスポーツやカラオケを楽しんだりしているというお話も伺いました。働くということを意識するためには、まずは学校や家庭の中で自分の役割を責任を持って果たすことが大切だと思います。様々な経験を通して自分の得意なことを知り、それを伸ばしていけるよう、今からできることにしっかり取り組んでいくことが必要であると感じました。